

I 令和3年度企業局予算の編成方針

1 企業局の現状

山口県企業局は、水資源を開発して有効に利用することにより、県産業の発展と県民の福祉の増進を図るため、12の水力発電所及び15の工業用水道を設置し、電気事業及び工業用水道事業を行っています。

企業局は、地方公営企業としての「公共性」と「経済性」を最大限に発揮するという基本原則の下、経営の健全化・効率化の取組を推進し、今後ともその役割を果たしていくことが期待されています。

このため、電気事業においては、電力システム改革の進展や再生可能エネルギー固定価格買取制度の抜本的見直しなど、工業用水道事業においては、渇水による慢性的な水不足や施設の老朽化の進行、工業用水の需給状況の変化などの経営環境の変化等に的確に対応していくことが必要です。

2 山口県企業局第4次経営計画の着実な推進

企業局では、2019年3月に「山口県企業局第4次経営計画(2019～2028年度)」を策定するとともに、電気事業及び工業用水道事業の「施設整備10か年計画」を改定し、中長期的な視点に立った取組を推進しています。

令和3年度も、「第4次経営計画」に掲げる「安定供給体制の強化」、「安定経営の確保」、「組織力の向上」、「地域・環境への貢献」の4つの経営の基本方針に基づき、計画的かつ効率的で透明性の高い企業経営を進めていきます。

経営の基本方針

- ◎安定供給体制の強化
- ◎安定経営の確保
- ◎組織力の向上
- ◎地域・環境への貢献

3 令和3年度予算編成の基本方針

令和3年度予算は、「第4次経営計画」に掲げる4つの経営の基本方針を柱に、電気及び工業用水道事業が抱える重点課題の解決に積極的に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景とした急速な社会情勢の変化に的確に対応するため、デジタル技術導入の加速化や感染症対策の取組を含めた働き方改革を推進することにより、企業局の使命である水力発電によるクリーンエネルギーと良質な工業用水の安定的供給を確保します。

